

一部改正学習指導要領にかかわるQ&A 内容一覧

番	校種	内 容	頁
1	小中	今回の改正は、「考える道徳」「議論する道徳」へと転換を図るものであります。これまでの道徳と何が違うのでしょうか。	37
2	小中	「特別の教科 道徳」の目標が、「実践力を育成する」から、「道徳的な判断力、心情、実践意欲と態度を育てる」となりましたが、どのように捉えればよいのでしょうか。	38
3	小	多様な指導方法の一つに、「問題解決的な学習」とありますが、道徳科における問題解決的な学習とは、どのような学習のことでしょうか。	39
	中	多様な指導方法の一つに、「問題解決的な学習」とありますが、道徳科における問題解決的な学習とは、どのような学習のことでしょうか。	40
4	小中	多様な指導方法の一つに、「道徳的行為に関する体験的な学習」とありますが、どのような学習のことでしょうか。	41
5	小中	「特別の教科 道徳」の目標に「多面的・多角的に考え」とありますが、多面的・多角的に考えることについて、どのように捉えればよいのでしょうか。	42
6	小中	評価について、「児童(生徒)の学習状況」という文言が加わりましたが、道徳科において、学習状況を把握することを、どのように捉えればよいのでしょうか。	43
7	小中	今回の改訂で、どのような内容項目が加えられましたか。また、各内容項目についての道徳的価値を分析する際、どのような点に注意するとよいのでしょうか。	44
8	小中	指導する学年段階に示されていない内容項目について指導の必要があるとき、他の学年段階の内容項目について扱うことは可能でしょうか。	45
9	小中	道徳教育の全体計画の別葉について、どのような効果があり、どのように作成し活用していけばよいのでしょうか。	46
10	小中	「特別の教科 道徳」の指導計画の取扱いについては、どのようにすればよいのでしょうか。	47
11	小中	「特別の教科 道徳」に改正されたことによって、学習指導過程において留意することはありますか。	48
12	小中	評価について、「児童生徒の学習状況や道徳性に係る成長の様子」を把握することとは、具体的にどのように見取り、記述すればよいのでしょうか。	49